

○梅の花に添へて

岩代須賀川町 服部貞子

丸窓のもとの白梅、今日咲き初め候。北の一枝と南の
一枝とは、わけてもふりようこそ候へ。ほゝ笑みての
み、口さかず候へども、北なるは満洲の兄にと存じ、
今一二輪封じこめたるところに候。南にむさたるは、
いはずもがな、君の御許。とみれば、梅はうれしげに
ほゝ笑み候。さらばまた、うつくしのみ歌たまへや。

こは梅の心に候ぞ。かして。